



住吉中学校だより 5月号

文責 校長 山下直之

【校訓】 自主 敬愛 剛健 勤労 【学校教育目標】 夢への挑戦 他への貢献

Shining～挑戦 みんながNo.1～

5月16日（土）、絶好の天候のもと、宇土市市長光井正吾様をはじめ、多くの来賓の皆様にお越しいただき、体育大会を開催することができました。

短い練習期間でしたが、赤団団長千田琉希叶さんと青団団長の稲田竜慶さんがリーダーシップを発揮し、団をまとめてくれました。

4月27日（月）に実施した結団式では、体育大会などの学校行事に、積極的に取り組むことは人生を楽しくすることにつながることを、体育大会前日には、全力プレーは来場した方を感動させることについて話をしました。生徒たちは期待に応え、見事に体現してくれました。

赤団が優勝という結果でしたが、勝ち負けよりも大切なことを学んでくれたと思っています。また、カメラのファインダー越しの生徒たちの姿は、大会スローガンの「Shining～挑戦 みんながNo.1～」のとおり、一人一人が輝いていて、とてもうらやましく思いました。住吉中学校の良さを改めて感じる機会となりました。

最後になりましたが、PTA除草作業に多数の方に御協力いただき、素晴らしい環境で開催することができました。保護者の皆様には感謝するとともに、お礼申し上げます。



6月は「心のきずなを深める月間」

熊本県では、6月を「心のきずなを深める月間」と定め、学校・家庭・地域が連携し、生徒同士だけでなく、生徒と教職員、保護者や地域住民等との「心のきずな」を深め、いじめを許さない学校・学級づくりを目指し、いじめの未然防止に重点を置いた取組を実施しています。本校でも取組を行っていきます。

さて、世の中には、誰一人として自分と同じ考えや気持ちをもった人はいません。また、学校はいろいろな個性や能力がある人たちの集団です。したがって、集団生活では、自分の思いどおりにはいきません。困ったことや嫌なことが、時々あるかもしれません。

私から、生徒に意識して欲しいことは以下の3つです。

- ①自分がされて嫌なことは友達にもしない。
- ②一人一人の違いや個性など多様性を認める。
- ③相手の立場になり、相手の考えや気持ちを想像し、話したり行動したりする。

御家庭や地域では、子ども自身が「自分は大切にされている」「自分は友達や身の回りの人の役に立っている」というプラスの感覚を感じるような言葉かけをしたり、子どもと一緒に自然体験やスポーツ活動、ボランティア活動等をしたりするなど、感動を共有できる機会をつくっていただくとありがたいです。また、子どものSOSを受信された場合は、担任にも情報提供をしていただくと、早期の対応ができるので助かります。よろしくお願ひします。

*熊本県人権啓発キャラクター「ココロ」→

